

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-2  
自然とのふれあいの推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

自然環境課長 森脇 幸

電話番号

0852-22-5346

事務事業の名称	自然公園管理事業	
目的	(1) 対象	自然公園利用者
	(2) 意図	安全で快適な利用の確保を図る。
事業概要	県内の自然公園（国立公園、国定公園、県立自然公園）では、各公園計画に基づき、公園を利用するための施設（遊歩道、駐車場、公衆トイレなど）が整備されている。このうち、県が整備した遊歩道や施設について、地元市町村に除草、清掃やパトロール等施設の日常管理を委託している。また、快適な利用ができるよう老朽化施設の修繕など維持管理を行っている。更に、自然災害などによる倒木・落石等の処理を行い、安心・安全な利用が出来るよう維持管理に努めている。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 自然公園の利用者数	目標値		9,330.0	9,330.0	9,330.0	9,330.0	千人
		取組目標値		12,370.0	12,370.0	12,370.0	12,370.0	
	式・定義 自然公園の利用者数	実績値	12,370.0	11,657.0	11,671.0			
		達成率	-	94.3	94.4			
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	25,400	69,614
うち一般財源 (千円)	18,900	19,514

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○自然公園の利用者数は、平成25年度の出雲大社における遷宮ブームが落ち着いたことから、出雲大社関連の利用者は減少傾向にあるが、他方で国立公園満喫プロジェクトや広域観光周遊ルート（緑の道）などの認定に伴い利用者の増加も見込まれる。  
○自然公園内における県所管施設の維持修繕を行う一方、危険箇所については、通行止めなどの対応により、利用者の安全確保に努めた。また、パンフレットの配布、県ホームページ等により公園情報の提供と利用促進に努めている。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 危険な箇所は、通行止めにより、自然公園の安全性の確保を図った。
- 県のホームページにおいて季節の旬の情報を提供し、公園利用者への利便提供を図った。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- 利用者や自然保護レンジャー等から、施設の破損や不具合、自然災害による倒木・落石・草木の繁茂などについて連絡や苦情がある。
- 公園内の歩道等で、利用が低迷して殆ど人が通らない箇所がある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 施設の老朽化が進んでいる。自然災害による倒木・落石などが多数発生している。
- 対象地域が広く施設も多い中で、事業費・体制の不足等により、不具合が出たところから修繕していくことで手一杯な状況。
- レンジャーの多様化等により、公園内を歩く人は限定的。また、木の生育により眺望が阻害され、かつてほどの魅力がなくなっているところがある。

### ③原因を解消するための「課題」

【事業費・体制の確保】適正な維持管理、老朽化した施設の計画的な補修、速やかな破損・不具合の修繕や倒木・落石の処理等ができるよう、十分な事業費・体制を確保する必要がある。地元活用により委託料を抑制しているが、過疎化や高齢化により活動は衰退傾向にある。  
【利用促進】国立公園満喫プロジェクトと連携した利用促進が必要である  
【施設等の適切な管理】人的・財政的体制に限られる中で、老朽化の状況や利用頻度等から適切な管理のあり方を検討する必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○適正な維持管理、施設修繕、倒木・落石処理などを行う予算を十分に確保し、安心・安全な利用ができるよう整備に努める。  
○効果的・効率的な業務執行体制を検討する。  
○管理を委託している市町村との連携を強化し、地元の協力を得ながら管理運営をしていく。  
○国立公園満喫プロジェクトと連携して国立公園内の施設整備を行う。  
また、その他の自然公園（国定公園、県立自然公園）においても、利用が促進するよう景観の整備や、安心安全で快適な施設整備を行っていく。  
○老朽化の状況や利用頻度等から判断し、緊急度の高い箇所から修繕を進めるとともに、市町村への譲渡や不要な施設の撤去を検討する。